

第 65 回町村議会議長全国大会
荒木泰臣全国町村会長祝辞

本日ここに、第六十五回町村議会議長全国大会が開催されるにあたり、全国の町村長を代表し、お祝いのご挨拶を申し上げます。

はじめに、町村議会議長の皆様におかれましては、常日頃から、住民福祉の向上と地域社会の振興発展のため、ご尽力いただいておりますことに対し、心から敬意を表しますとともに、全国町村会の活動に対し、ご理解とご協力を賜っていることに、厚く御礼申し上げます。

先週十七日に開催した私どもの全国大会には、南雲会長にご臨席賜り力強いご祝辞をいただきました。また、同日、全国町村会創立100周年記念式典を開催し、これまでの町村の歩みを振り返りましたが、私たち町村は、いつの時代にあっても、地域に暮らす人々とともに、国土に広がる豊かな里、山、海を守り育み、伝統文化の継承はもとより、食料・エネルギーの供給、水源涵養、国土の保全、災害危機対応など、国民生活にとって欠くことのできない極めて重要な役割を担い続けてまいりました。平成の合併により数は減少しましたが、全国の町村は、むしろこれからの時代にこそ、わが国の持続的な発展にとってなくてはならないと改めて強く確信したところで

す。さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、皆様とともに、地域の現場で、医療関係者をはじめ住民・事業者の協力を得ながら感染拡大防止に懸命に取り組んでおりますが、今後、三回目のワクチン接種も予定されております。国には、引き続き、町村の現場にも十分配慮していただきながら、前例にとらわれない積極的なコロナ対策を求めてまいります。私たち町村も、国と心をひとつにしてこの国難を克服するため、議長会の皆様と全力を尽くして参りたいと思います。

また、岸田内閣が掲げる、「デジタル田園都市国家構想」は、デジタルインフラの整備や、デジタル人材の確保をはじめとする地方への様々な支援により、条件不利地域を多く抱える町村も含めて、国土全体を徹底的に活かすことで、私たち町村がかねてから主張する「東京一極集中の是正」、「都市と農山漁村が共生する社会の実現」につながるものであります。

この政策や喫緊のコロナ対策を含め、今月十九日には、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」が決定されました。このたびの経済対策に沿った予備費の活用、補正予算の早期成立及び令和四年度当初予算編成による切れ目のない事業執行を、要望し、特に、町村にとって命綱である地方交付税等一般財源総額の確保、固定資産税の臨時異例の特例措置の復元などの税制改正についても、皆様と一致協力し、強く訴えていかなければなりません。

私たちは、コロナ後の社会を見据え、今後とも全国町村議会議長会との連携を一層強固なものとし、一丸となって、国への要望活動や町村の振興発展に向けた活動を、強力に展開してまいりたいと存じます。

結びに、全国町村議会議長会のますますのご発展とご列席の皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和 3 年 11 月 26 日

全国町村会長 荒木 泰臣